

教育学演習Ⅱ

科目ナンバリング SEM-302

必修 2単位

田崎 教子

1. 授業の概要(ねらい)

個々のもつ音楽的知識と演奏技能の向上を目指し、日々研鑽を積むとともに、幼児・児童を対象にした音楽鑑賞型のプログラムと、音楽を介したワークショップ型のプログラムを考案し、実施する。

また、これらの活動に基づいた実践研究や個々の興味・関心に基づくテーマに沿って探究し、その成果を発表し、全体で討議する。

2. 授業の到達目標

集団によるアクティブな活動の中で、音楽の本質的な特徴や効果等を体感し、理論的・実践的理解に努める。集団における個々の位置づけや役割を考え、プログラムの内容にどう機能するかを見通せる力をつける。

研究テーマに基づく研究内容をまとめ、発表、討議等を通して、音楽に対する自分なりの視点や見解をもつようにする。

3. 成績評価の方法および基準

①実技・演奏 60%

②研究発表・論文 30%

③平常点 10%

これらを基に総合的に評価する。

4. 教科書・参考文献

参考文献

後藤芳文・伊藤史織・登本洋子 『学びの技』 玉川大学出版部

石井一成 『大学生のためのレポート・論文の書き方』 ナツメ社

5. 準備学修の内容

・個人で準備・練習の必要性があるものは、極力授業時間外で行い、授業時間内はグループでの意見交換やグループ練習の為に充てる。

6. その他履修上の注意事項

・個々の役割を認識し、グループとして成果が出るようお互いが協力すること。

・音楽活動の場を拡充できるよう、それぞれが発表の機会をもち、実践の回数を重ねること。

7. 授業内容

- | | |
|--------|-----------------------------|
| 【第1回】 | 個々の研究内容の確認
〔対面授業〕 |
| 【第2回】 | プログラムの検討①
〔対面授業〕 |
| 【第3回】 | プログラムの検討②
〔対面授業〕 |
| 【第4回】 | プログラムの準備①
〔対面授業〕 |
| 【第5回】 | プログラムの準備②
〔対面授業〕 |
| 【第6回】 | プログラムの準備③
〔対面授業〕 |
| 【第7回】 | プログラムの練習①
〔対面授業〕 |
| 【第8回】 | プログラムの練習②
〔対面授業〕 |
| 【第9回】 | プログラムの練習③
〔対面授業〕 |
| 【第10回】 | プログラムの練習④
〔対面授業〕 |
| 【第11回】 | 演奏会の実施
〔対面授業〕 |
| 【第12回】 | 演奏会の総括
〔対面授業〕 |
| 【第13回】 | 研究テーマに基づく発表、全体討議①
〔対面授業〕 |
| 【第14回】 | 研究テーマに基づく発表、全体討議②
〔対面授業〕 |
| 【第15回】 | 演奏発表・研究のまとめ
〔対面授業〕 |